

浜松地域の経済動向

2021年1月を中心に

新型コロナ感染再拡大が飲食、宿泊業に悪影響を与えている。

1月の自動車生産台数は前月に生産を増やしたこともあり減少したが、輸出を中心に堅調に推移している。

浜松管内有効求人倍率は前月より上昇しており、県有効求人倍率を0.05ポイント上回っている。

雇用情勢は一部持ち直し傾向が見られるが、有効求人倍率は前年同月比では、0.4ポイントマイナスと依然厳しい状況は続いている。

飲食、観光業は新型コロナ感染再拡大による首都圏での緊急事態宣言、GoToキャンペーン一時停止の影響を受け低調に推移した。

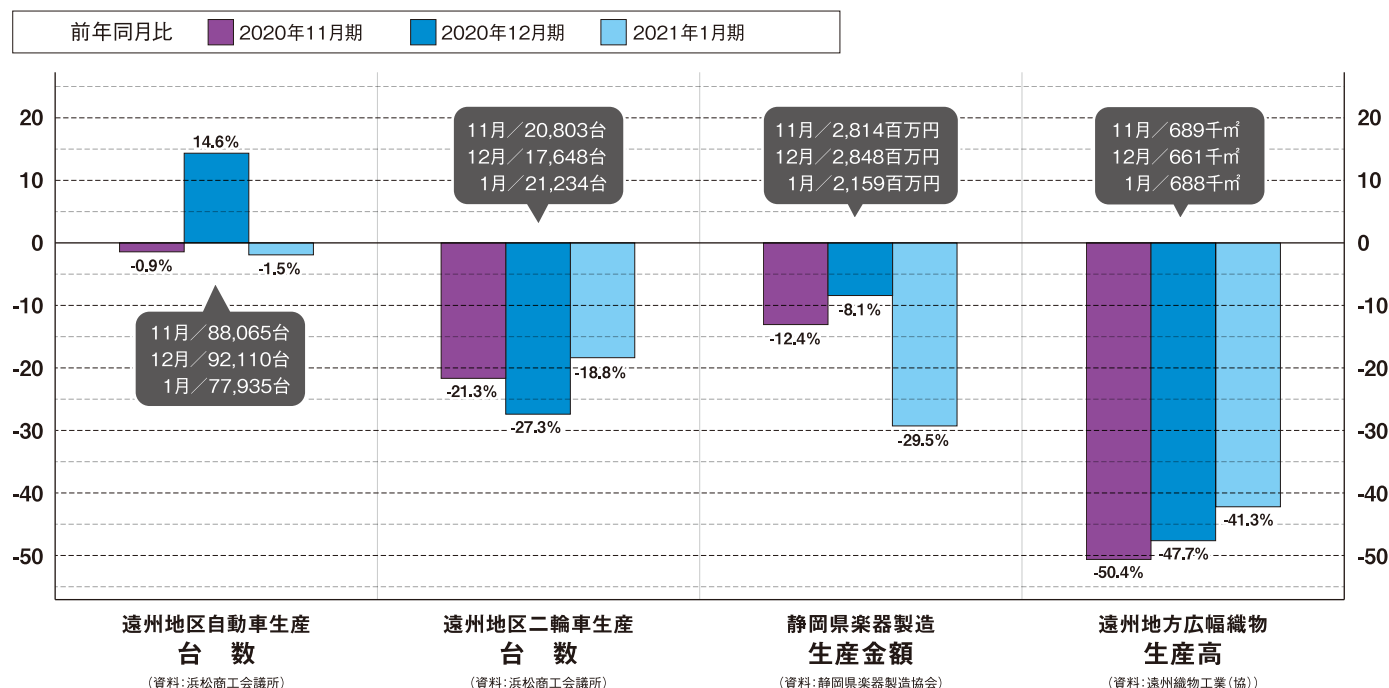
2021.

4

2021年4月発行

発行：浜松商工会議所

① 製造業〈主要経済指標〉



自動車



2021年1月における遠州地区の自動車生産台数は前年同月比1.5%減の7.7万台となった。軽自動車は増加したが、普通四輪車、小型四輪車は前年同月を下回った。国内向けは前年同月比5.6%減、輸出は前年同月13.2%増であった。新型コロナウイルスの感染再拡大、世界的な半導体不足、2020年12月に生産を増やしたこともあり、生産台数は前月より1.4万台減少した。輸出は8カ月連続前年同月比プラスとなっている。

二輪車



2021年1月における二輪車生産台数は前年同月比18.8%減の2.1万台となった。国内向けは前年同月比77.7%減、輸出も前年同月比8.8%減となった。排気量別では50cc以下前年比63.0%減、51cc～125cc以下11.2%増、126cc～250cc以下30.9%減、251cc以上14.5%減であった。輸出向けは11カ月連続で前年同月を下回った。小型二輪車は5カ月連続で前年同月比プラスとなっている。国内向けは振るわず、2カ月連続で前年同月比60%以上減となった。

楽器



2021年1月における生産金額は前年同月比29.5%減の21億円となった。分野別に1月の生産台数をみると、ピアノ0.2%減、電子・電気ピアノ2.7%減、電子オルガン37.2%減、管楽器35.8%減となっている。電子・電気ピアノは5カ月振りに前年同月比マイナスに転じた。電子オルガンは18カ月連続、管楽器は10カ月連続で対前年同月比マイナスとなった。巣ごもり期間の長期化でピアノ需要が高まってきている。

繊維



2021年1月の生産量は前年同月比41.3%減の688千㎡となった。前年比マイナスとなるのは22カ月連続。綿織物、合繊織物、スフ織物、その他織物、全ての織物が前年同月比マイナスとなっている。例年、1月から3月は生産が減少し始める時期であるが、1月の生産高は12月より27千㎡増加した。新型コロナが早期に収束し、景気回復による広幅織物の需要増加を期待したい。

② 非製造業〈主要経済指標〉

運輸



2021年1月におけるタクシー乗車人員は前年同月比48.4%減の21.4万人となった。前年水準を下回るのは29カ月連続。宅配デリバリー業務は定着しつつあるが、感染再拡大により、通院、ビジネス、催事客は少なく、乗務員・営業車の需給調整は継続されている。

観光

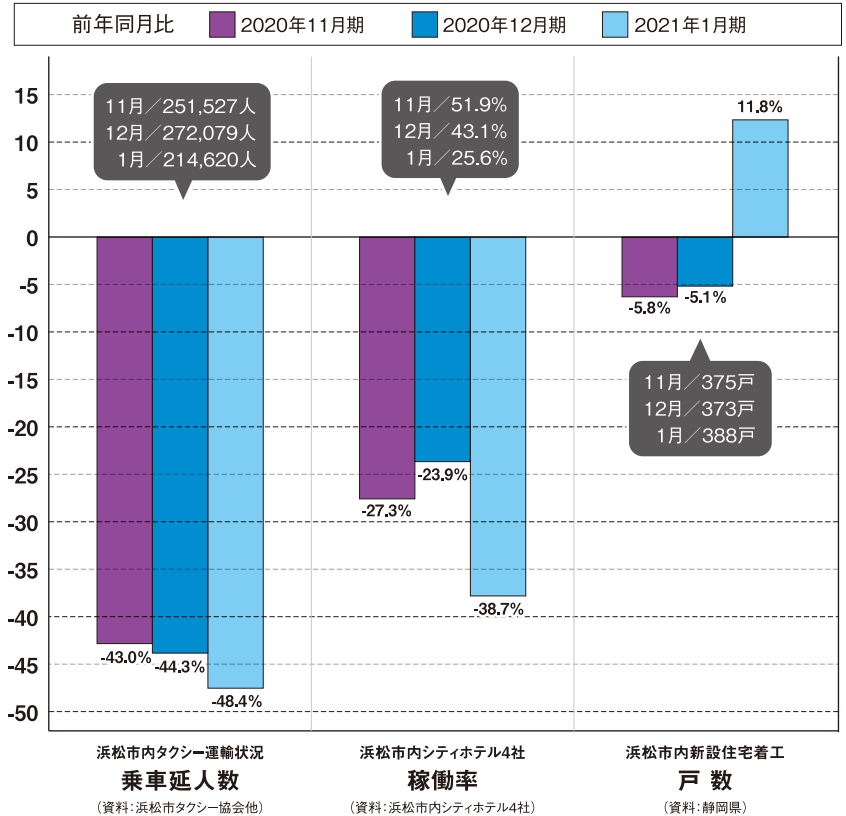


観光業では、GoToトラベルキャンペーンの一時停止、首都圏を中心に発令された緊急事態宣言の影響を受け、予約客のキャンセルが相次いだ。年始、ビジネス客はほとんどなく、1月のホテル稼働率は25.6%と前年稼働率を38.7ポイント下回った。

住宅着工



2021年1月における浜松市の新設住宅着工は、前年同月比11.8%増の388戸となった。持家は前年同月比15戸減少、貸家は53戸増加、分譲住宅は2戸増加であった。静岡県全体の住宅着工戸数は1,665戸であった。浜松市は貸家、分譲住宅は増加したが、持家が減少した。特に貸家の増加戸数が大きかった。着工総数は前月を15戸上回った。



③ その他〈主要経済指標〉

有効求人



ハローワーク浜松管内における2021年1月の有効求人倍率は前年同月比0.40ポイント下降の1.03となった。前月比では0.02ポイント上昇した。全国(1.10)との比較では0.07ポイント下回り、静岡県(0.98)を0.05ポイント上回った。前年同月と比較して月間有効求職者数は1,697人増加した。月間有効求人数は前月比で138人の増加となった。2カ月連続で1倍を上回った。新型コロナウイルス感染再拡大で、有効求人倍率の大幅な悪化が懸念されたが、雇用情勢に大きな影響はなかった。

倒産企業



2021年1月における県西部の企業倒産件数(帝国データバンク調べによる負債総額1千万円以上の法的整理による倒産)は3件、負債総額は1.5億円となった。倒産企業数は前年同月より5件減少、前月より4件減少した。負債総額は前月比3.6億円の減少となった。静岡県全体の倒産件数は21件、前年同月5.0%増であった。

ガソリン価格



2021年1月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり135.9円となった。前月比2.4円上昇、前年同月と比較すると15.1円下降した。新型コロナウイルス感染長期化でガソリン需要は減少傾向となっている。今後、コロナワクチンの普及で経済活動が通常に戻り、ガソリン需要が回復すれば、価格に影響を与える可能性がある。

外国為替



2021年1月の外国為替は1ドル103.70円、前年同月と比較すると5.64円の円高となっている。現状、米国長期金利、米国雇用統計の影響を受けやすい状態となっており、不安定な値動きが懸念される。

